

# 日本フェアトレード・フォーラム (FTFJ)

## 2018年度 事業報告

(2018年7月1日～2019年6月30日)

定款第4条(事業)の分類に従って、2018年度は以下の事業を実施した。

### 1) フェアトレードの普及および啓発に関する事業

#### (1) フェアトレードタウン、大学等を広げるための情報発信

ウェブサイトでは、WFTO(世界フェアトレード機関)とFI(フェアトレード・インターナショナル)が共同で作成した「国際フェアトレード憲章・改訂版」の和訳版を公開(2018年10月)、統一地方選に先立ちフェアトレード政見調査のすすめを呼び掛け、手引きと資料を提供(2019年3月)などのリソース提供を行ったが、ニュース性のあるタイムリーな情報発信は実現できていない。Wordpressで作業できる人員が限られているため、今後は外部委託等も含め担当人員を増やす必要がある。

FBページでは、各地の推進組織が発信したニュースや理事が登壇するイベントなどの情報を、複数の理事が適宜シェアすることで情報発信を行った。

#### (2) フェアトレード全国意識調査の実施

「国境を超えた倫理的消費に関する国際比較」研究グループが主体となり、FTFJの過去の調査票をもとに調査を実施することになった。マクロミル社によって3月に実施された調査データは、同研究グループと共同研究者によって論文化されるとともに、過去の調査票との継続設問への解析は、2019年10月上旬にFTFJとの共同発表を行う。

#### (3) ワン・ワールド・フェスティバル2018参加

時期: 2019年2月

場所: 大阪

主体: FTFJ(主催者はワン・ワールド・フェスティバル2018実行委員会)

目的: 関西地方へのフェアトレードの普及

対象: 関西地方のFT団体、FTショップ、行政、企業、NGO/NPO、市民、メディア、など

内容: ワークショップ

「バーチャルタウントレイル～イギリスと日本のフェアトレードタウンを巡ろう」のタイトルの元、小吹理事と開発教育協会大阪所長の佐藤友紀氏が、日本の各FTタウンから提供いただいた資料と、小吹理事がイギリスで集めた資料を元に、参加者にFTタウンの疑似体験をしてもらった。クイズ形式で各タウンの特色ある様々な取り組みを知っていただき、フェアトレードの多様な展開を40名を超える参加者と共有した。

また、「ワンフェス for ユース2018」にも出展した。

時期: 2018年12月

場所: 大阪

主体: FTFJ(主催者はワンフェス for ユース2018実行委員会)

目的: 関西地方でのFTタウン、FT大学、FTスクールの認知度向上

対象: 関西地方の高校生、大学生、引率教員、行政担当者、NGOスタッフ、企業、市民、メディア、など

内容: ブース出展

日本のFTタウン、FT大学、そして各国のFTスクールの事例を紹介し、地域、学校単位でも普及が可能だということを知っていただいた。この催しは高校生向けが大半なので、特に高校生のFTスクールへの関心が高かった。またユネスコ協会の関西の幹部の方々も興味を示され、今後ユネスコスクールとの連携も視野に入れていきたい。

#### (4) 「フェアトレードタウンのすすめ」フォーラム開催

時期：2019年 3月17日（日）

場所：名古屋市（SMBC パーク栄）

主体：名古屋市、NPO 法人フェアトレード名古屋ネットワーク（FTNN）、FTFJ

内容：名古屋市で毎年開催のセミナーに、FTFJ 理事が講師となり、フェアトレードタウンやフェアトレード大学・フェアトレードスクールについての理解を広げ深めた。参加者 80 名。

- ・基調講演「若者から広がるフェアトレードの輪」講師：胤森なお子代表理事  
フェアトレードタウン運動から広がる、フェアトレード大学、フェアトレードスクールの未来について国内の動向。
- ・パネルディスカッション「変革の波は地方から～高校生・大学生によるフェアトレードタウン運動の魅力」  
ファシリテーター：小吹理事／パネリスト：胤森代表理事・萱野理事・神田理事・原田理事  
若者から広がるフェアトレードのお話を軸に、国内 5 番目のフェアトレードタウン認定を間近に控えた札幌市、国内初の町としての認定を目指す垂井町など、日本各地で広がるフェアトレードタウンについて紹介。
- ・ワークショップ「私たちで描こう！理想のフェアトレードスクール」  
進行：愛知県立愛知商業高等学校ユネスコクラブ・愛知県立南陽高等学校 Nanyo Company 部  
高校生、大学生によるフェアトレードの活動事例をもとに、理想のフェアトレードスクールについてワークショップ形式で考えた。

#### (5) 会員向け勉強会の実施

国際会議の報告等、フェアトレードの最新情報を会員に共有するオンライン勉強会を年度中 2～3 回実施する計画だったが、実現できなかった。

#### (6) フェアトレード普及のための教材の開発

時期：2019年 2月

主体：FTFJ、開発教育協会関西支部

目的：フェアトレードの普及・啓発

対象：一般市民

内容：ワン・ワールド・フェスティバル 2018（上記(2)）にて、日本の各 FT タウンから提供いただいた資料とイギリスの FT タウンの資料を元に、参加者に FT タウンの疑似体験をしていただくプログラムを作成、それも元に WS を実施した。今後それぞれのタウン版を作成していただく参考にしていただきたい。

#### (7) 国際フェアトレード憲章の普及

2018年 9月 25 日にリリースされた WFTO と FI 共同制作の「国際フェアトレード憲章・改訂版」を、フェアトレードの理念や実践方法を解説する資料として誰もが参照し理解できるよう、和訳を作成しウェブサイトに掲載した（上記(1)）。

#### (8) フェアトレードタウン・大学・高校全国フォーラム 2019 in Hamamatsu（仮称）に向けた準備

2019年 11 月実施予定のフォーラムの企画内容について、下澤理事が草案を作成、理事会で協議し内容をほぼ固めた。

#### (9) 2019 年統一地方選でのフェアトレード政見調査実施

時期：2019年 3月

主体：各地域の推進委員会

対象：統一地方選挙立候補者

内容：にいがたフェアトレード推進委員会の佐藤氏から、フェアトレード政権調査についての問い合わせがあり、2015年に作成した呼び掛け文、関係資料をアップデートして問い合わせに答えるとともに FTFJ のウェブサイトにはバナーを張って、関心のある推進委員会が自由に使用して調査を実施できるようにした。佐藤氏からは新潟での調査結果が報告され、会員メーリスで共有していただいた。

## (10) 各地のフェアトレード・イベントやキャンペーンの後援・協力

FTFJ の理事や会員が実施に関わる下記のイベント・キャンペーンに、後援や広報協力を行った。

- ① 世界フェアトレードデーなごや 2019 コーヒーサミット (5月6日)  
協力内容：「後援」に名を連ねる
- ② JICA 中部なごや地球ひろば開館 10 周年記念フェアトレード&エシカル・ファッションショー (6月1日)  
協力内容：「後援」に名を連ねる
- ③ エシカル・バナナ・キャンペーン (2018年7月～)  
協力内容：「賛同」団体となり広報や情報拡散に協力する

## 2) 国内および国際的なネットワーク事業

### (1) WFTO 地域会合への参加

時期：2018年11月22日～24日

場所：ネパール・カトマンズ

主催：WFTO-Asia

目的：世界的なフェアトレード・ネットワークの活性化

対象：WFTO 加盟団体、賛助団体・個人

内容：「WFTO アジア・サミット 2018」に胤森代表理事が参加し、WFTO が推進している生活賃金ポリシーの概要などの最新情報を得た。会合にはネパールの文化観光省の大臣と UNDP (国連開発計画) のカンントリーマネージャーが来賓として出席し、フェアトレードがネパールの伝統産業や観光の振興、SDGs 達成に寄与することを期待している旨のスピーチがあった。フェアトレードが国や国際機関からも評価されていることが見て取れた。

### (2) 国際/国内フェアトレードタウン・ネットワーク等への参加

時期：2018年10月19日～21日

場所：スペイン・マドリッド

目的：国際/国内フェアトレードタウン運動への貢献と他国/他所の経験からの学び等

対象：国際フェアトレードタウン・ネットワークの加盟団体、賛助団体・個人

内容：第12回フェアトレードタウン国際会議に渡辺理事が参加 (フェアトレードスクールの分科会を担当)。今回の会議には UNCTAD (国連貿易開発会議) No2 の副事務局長が参加し、フェアトレード運動と連携していくことで合意した。国際 FTT 推進委員会の委員選出方法が明確化されて、地域別に選出されることになった (その後の選出プロセスでアジア地域からは韓国の委員が選出された)。

## 3) フェアトレードの理念を実現するための政府・企業セクターへのアドボカシー事業

### (1) 日本エシカル推進協議会の活動を通じたフェアトレード調達の普及

2020年東京オリンピック・パラリンピックの農産物調達基準が策定され (2017年3月)、その中に「サプライヤーは、海外産の農産物で、上記 2\*) を満たすことの確認が困難なものについては、フェアトレードの取組によるもの等、組織委員会が認める持続可能性に資する取組に基づいて生産され、トレーサビリティが確保されているものを優先的に調達すべきである」との文言が入った。今後も最大限フェアトレード調達が行われるよう、働きかけを続ける必要がある。

\*) 食材の安全、生態系と調和のとれた農業生産活動、作業者の労働安全を確保するため、農産物の生産に当たり、日本の関係法令等に照らして適切な措置が講じられていること

#### 4) フェアトレードタウンおよびフェアトレード大学等の類似イニシアチブの推進に関する事業

##### (1) フェアトレードタウン／フェアトレード大学運動の普及

FTFJ が協力し、NPO 法人フェアトレード名古屋ネットワーク発行のフリーペーパー『惣 sou』にて日本全国のフェアトレードタウン運動の様子をまとめた。タウン運動が行われている都市は、以下の通り。

北海道札幌市（6月に FTT 認定）、旭川市、苫小牧市、函館市、新潟県 新潟市、佐渡市、栃木県 宇都宮市、茨城県 水戸市、千葉県 千葉市、館山市、東京都 世田谷区、大田区、武蔵野市、神奈川県 横浜市保土ヶ谷区、静岡県 静岡市、長野県 飯田市、長野市、愛知県 刈谷市、大府市、三重県 いなべ市（4月に申請受理）、岐阜県 垂井町、兵庫県 神戸市、岡山県 岡山市、島根県 松江市、島根県 出雲市、愛媛県 今治市、福岡県 北九州市

各地の推進組織の求めに応じ、FTFJ 理事が応援に行ったり、相談を受けたり、サポートをしている。

また、5月～6月に各地で行われた世界フェアトレード・デーのイベントで、FTFJ 理事が主催団体に主導的な役割を担ったり、講演等に出演した。

名古屋	5月6日（月・祝）	第10回 世界フェアトレードデーなごや2019 コーヒーサミット
いなべ	5月11日（土）	いなべフェアトレードデイ カリーサミット2019
出雲	5月11日（土）	第3回 いずも・まつえ→世界フェアトレードデー
東京	5月11日（土）	世界フェアトレード・デーにSDGsを考えよう！
千葉	5月12日（日）	フェアトレードフェスタちば2019
岡山	5月18日（土）	おかやまフェアトレードデー2019
垂井	5月26日（日）	第9回フェアトレードデイ垂井
札幌	6月1日（土）	“おめでとう”フェアトレードタウン札幌認定記念式典
札幌	6月29日・30日	フェアトレードフェスタ2019 in さっぽろ

#### 5) フェアトレードタウンおよびフェアトレード大学等の類似イニシアチブの基準等の策定ならびに認定に関する事業

##### (1) 「第3カテゴリ」に該当するフェアトレード団体の確認とモニタリング

過去に FT タウンとして認定した各地の推進団体が選定した「第3カテゴリ」の団体をリストにまとめたが、掲載した団体の活動状況についてのモニタリングは行っておらず、外部への公開は控えることとした。三重県いなべ市よりタウン申請にあたって参考資料としたい旨の要望があり、FTFJ による精査前のものであることをことわった上でリストを提供した。

##### (2) フェアトレードタウン／大学の認定

2019年6月に、北海道札幌市を5番目の FT タウンに認定した。また、下記の地域および大学より認定申請を受理した。（ ）は受理年月

北星学園大学・北星学園短期大学部（2019年3月）

札幌学院大学（2019年4月）

三重県いなべ市（2019年3月）

また、下記の3都市の更新認定を行った。

愛知県名古屋市（2019年1月）※本来の更新時期は2018年9月だが書類のやり取りに時間を要した

熊本県熊本市（2019年4月）※本来の更新時期は2016年6月だが震災により延期した

神奈川県逗子市（2019年4月申請受理、審査中）

##### (3) フェアトレード・スクールの基準策定およびパイロットプロジェクトの開始

2018年度の FTFJ 総会でフェアトレードスクールの基準が一度採択されたが、その後高校の先生方とのやり取りを通じて「認定方式」は日本の実情にそぐわないことが明確となったことから、優れた FT 普及活動

を行う学校を「表彰」する方式へと変えることが理事会で合意され、表彰制度の素案が策定された（2019年度の総会で議決後運用する予定）。

## 6) フェアトレードの理念を国内および地域社会に実現するための事業

### (1) 「国内フェアトレード」の実現に向けた活動

具体的な活動は行わなかった。

## 7) 責任ある消費の普及等、公正かつ持続可能な社会創りを目指す活動や運動と連携した事業

### (1) 日本エシカル推進協議会等と連携した責任ある消費の普及

日本エシカル推進協議会に、理事として、渡辺理事と原田理事が参加。定時総会／記念シンポジウム（6/12）では、渡辺理事による「イタリアに見るフェアトレードと倫理的消費」講演と、パネルディスカッションが行われた。

### (2) 「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク」への参加

2019年3月、聖心女子大学4号館ブリット記念ホールで「第3回企業のエシカル通信簿」の発表。家電売上上位5社と外食上位5社の「成績」について調査経過と結果発表。マスコミ数社、企業数社、消費団体等が参加。多くの関心と呼んだ。8月には大阪でも開催した。また消費者が手軽に商品のエシカル度や買える店をチェックできる情報を提供するスマホのアプリ「ぐりちよ」を開発。現在コーヒー、チョコレート、ポテトチップスなど15品目を掲載、今後品目の種類やお店の数を増やしていく予定。

## 8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### (1) FTFJの基盤強化

下澤理事（グループ長）、胤森代表理事、渡辺理事、萱野理事、原田理事から成る財政再建タスクフォースを立ち上げ、議論の結果、FTFJの今後の収入増の財源として主に会員増、特に企業の賛助会員の増加を目指すこととし、会員勧誘や広報業務を外部に委託する案を理事会に提出した。しかし、収支バランスがとれるまでの期間が7～10年と長いことや、収入源の一つとして見込んでいる助成金の獲得可能性への疑問など慎重な意見もあり、まだ合意に至っていない。

FTFJの中・長期的な展望などをしっかり話し合う機会をつくり、中・長期活動計画に基づいてあらためて提案できるよう、議論を継続する。

### (2) フェアトレード・ショップ会員の拡大とショップ間の連携推進

会員のシサム工房およびFTSL（フェアトレード・ショップ・リスト）と共同で、ショップ間の意見交換や経験共有のための会合や場づくりを行う計画であったが、実行に至らなかった。

以上